

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分)

都道府県名:島根県

1. 事業名	しまね女性活躍推進事業
2. 実施期間	平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日
3. 事業の趣旨・目的	<p>本県の女性活躍を推進するためには、①中小企業の取組みの促進②応援会議を活用して全県に取組みを拡大③現在働いている女性の継続就業支援と管理職への昇進意欲の向上④現在働いていない女性の就業促進が必要である。</p> <p>①について 平成28年度に「しまね女性の活躍応援企業登録制度」を創設し、中小企業に対しては、行動計画策定支援や職場環境整備のための補助金による支援により、県内企業の女性活躍推進の取組促進を図っているが、女性活躍を進めるためには、行動計画を実現することが重要であり、そのために、平成29年度から、応援企業に対するフォローアップを開始する。 また、女性活躍推進に積極的な企業の取組みや成果を、学生が取材し、広く紹介することにより、県内企業の取組みの促進を図るとともに、学生の県内企業への理解を深める。</p> <p>②について 応援会議には、構成団体の女性や若手社員によるワーキングチームを設置しており、各種事業を検討・実施している。また、平成28年度に実施した島根県における女性の働き方の特性や課題の調査・分析を基に、平成29年度は、応援会議として、「全国一働きやすく、女性が活躍する県」の実現に向けて、目標の設定とロードマップの策定を行うこととしている。これに基づいて、応援会議で①、③、④に関係する事業を実施することにより、構成団体自らの取組みを強化するとともに、全県に取組みを拡大する。</p> <p>③について 本県の女性の有業率は高いが、働き続けにくいと感じている人が多く、管理的職業従事者比率が低いことから、女性の継続就業と意欲向上、管理職への昇進意欲の向上を図るために、働く女性に対する各種セミナーの開催、ネットワークづくり、ロールモデル紹介・知事表彰を行う。 また、男性や管理職の意識改革のためにイクメン・イクボス養成講座を開催し、ワーク・ライフ・バランスや職場環境の整備を推進する。</p> <p>④について 本県の人材不足は深刻である。一方、就業を希望しながら働いていない女性も多い。これらの女性の多くは子育てなどで、家庭と仕事の両立が難しいと考えていることから、現在子育てなどをしながら働いている女性との座談会や、人材不足の企業との座談会を開催し、就職活動へ踏み出す後押しをすることにより就業につなげる。</p>
4. 事業内容	<p><b>【県が実施する事業】</b></p> <p>①女性活躍に係る計画策定支援フォローアップ事業 ・行動計画を策定し、「しまね女性の活躍応援企業」に登録している労働者300人以下の企業の行動計画の実現に向けてフォローアップのためのアドバイザーを派遣した。</p> <p>②しまね働く女性きらめき大賞(知事表彰)創設 ・女性の就業継続や管理職への昇給意欲の向上につなげるため、企業でいきいきと活躍していて、ロールモデルとなる女性を表彰した。</p> <p><b>【応援会議が実施する事業】</b></p> <p>◆4つのワーキングチームで分担して事業の企画・運営を行う。</p> <p>③ネクストリーダー(次期社長候補)向けセミナー(経営者・管理者意識改革チーム) ・平成28年度は企業経営者向けセミナーを開催し、意識改革を図ったので、7月に経営戦略における女性活躍推進について理解を深めてもらい、企業での取組みをさらに進めるため、会社経営を担う次のリーダーを対象にセミナーを開催した。</p> <p>④女性のスキルアップセミナー及び女性リーダー研修・ネットワーク交流会(女性のスキルアップ・ネットワークづくり推進チーム) ・女性が主体的に働き、職場でその能力を發揮できるようスキルアップのためのセミナー、女性の意識改革、意欲や能力の向上につなげるとともに、交流を通じて企業の職場環境の情報を交換することで、企業での女性活躍推進の取組みを進めるために、企業の女性管理職等を対象にしたリーダーとしての能力を高める研修、管理職等のネットワークづくりのための交流会を開催した。</p> <p>⑤イクメン・イクボス養成事業(イクメン・イクボス推進チーム)(健康福祉部と連携) ・男性社員や管理職の意識改革、ワーク・ライフ・バランスを推進し、働き続けやすい職場環境の整備を促進するためにイクメン・イクボスを養成するためのセミナーを開催するとともに、企業の要望に応じて講師を派遣した。</p> <p>⑥優良取組企業・活躍している女性の紹介事業(応援企業推進チーム)(商工労働部・県教育委員会・大学と連携) ・県内での女性活躍推進の意識醸成、企業の取組促進を図るために、応援企業のうち特に優良な取組を行っている企業やそこで活躍している女性を、高校生や大学生が取材して、動画及びパンフレットを作成し、発表会での紹介や関係機関への配布を行った。</p> <p>⑦働きたい女性のための座談会(女性のスキルアップ・ネットワークづくり推進チーム) ・就業へ踏み出すための後押しを行うために、働いていないが就業希望のある女性と子育てなどをしながら働いている女性との座談会を開催した。また、働きたい女性のニーズを把握してもらい、柔軟な働き方に対応する環境整備を進めてもらうため人材不足の企業の経営者・管理職との座談会を開催した。</p> <p>⑧効果検証・課題整理(ワーキングチーム全体会議)</p>

4. 事業内容	<p>※交付金事業以外の事業との連携</p> <p>○行動計画策定支援、女性の活躍のための環境整備補助金による支援(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①は上記事業の一環として実施</li> </ul> <p>○しまね女性の活躍応援企業知事表彰(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・②と併せて募集、表彰を実施。</li> </ul> <p>○経営者・管理職向けセミナー(応援会議:経営者・管理職意識改革チーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・③④のセミナーと連動して、時期等を調整し、効果的に開催</li> </ul> <p>○「全国一働きやすく女性が活躍する県」の実現のための目標とロードマップの策定(応援会議:目標・ロードマップ策定チーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標やロードマップを踏まえた事業の実施と、実施結果のロードマップへの反映</li> </ul> <p>※他部局との連携</p> <p>◆月1回程度、環境生活部(男女共同参画室)、健康福祉部(子ども・子育て支援課)、商工労働部(雇用政策課)で連絡会議を開催し、情報共有、事業の調整・運営協議を行った。</p>								
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>・平成28年度女性の働き方の特性や課題等の調査を行い、今年度、応援会議において目標設定、ロードマップの作成を行った。</p> <p>・女性の活躍推進に積極的に取り組む企業の紹介を県内学生とともに行ったことにより、学生の意識の変化や女性活躍に取り組むことの効果について県内企業に対するよいPRとなった。</p>								
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>・しまね女性の活躍応援企業登録数は、平成29年度末で103企業等となり平成32年度末で150社としていた目標に近づいた。</p>								
7. 今後の課題	<p>・県内全域で、企業において女性の活躍推進のための取組が進んでいるとは言い難く、継続した就業環境の整備や企業経営者等の意識改革に加え、男性の家事参画の推進や女性の活躍を進めるためのPR方法等が課題である。</p>								
8. 事業の実施体制	<p>①応援会議の設置要綱及び構成員:別紙のとおり</p> <p>②委託事業の委託先</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性活躍に係る行動計画策定支援フォローアップ事業:島根県中小企業団体中央会、島根県商工会連合会</li> <li>・女性のスキルアップセミナー及び女性リーダー研修・ネットワーク交流会:(公財)しまね女性センター</li> <li>・イクメン・イクボス養成事業:NPO法人ファザーリング・ジャパン中国</li> </ul>								
9. 経費の内訳 (単位:円)									
事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	28補正事業(補助率8/10)	総事業費(A=B+C+D)	本交付金(B)	他の寄付金等(C)	自己資金(D)	備考
①	女性活躍に係る行動計画策定支援フォローアップ事業	(1)	29年度当初予算		1,300,104	650,050		650,054	
②	しまね働く女性きらめき大賞(知事表彰)創設	(1)	29年度当初予算		250,325	125,150		125,175	
③	ネクストリーダー(次期社長候補)セミナー	(1)	29年度当初予算		472,858	236,420		236,438	
④	女性のスキルアップセミナー及び女性リーダー研修・ネットワーク交流会	(1)	29年度当初予算		1,989,295	994,640		994,655	
⑤	イクメン・イクボス養成事業	(1)	29年度当初予算		1,320,000	660,000		660,000	
⑥	優良取組企業・活躍している女性の紹介事業	(1)	29年度当初予算		1,588,388	794,190		794,198	
⑦	働きたい女性のための座談会	(1)	29年度当初予算		125,100	62,550		62,550	
	合計				7,046,070	3,523,000	0	3,523,070	
10. 担当者名及び連絡先	島根県環境生活部環境生活総務課男女共同参画室 主任 高宮 あゆみ TEL:0852-22-5245								
11. 事業実施及び連携工程	様式4-1-1に記載								

注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-1-2と整合性をとって記載してください。

注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)、(2)、(3)、(4)から選択してください。

注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「28年度補正予算」、「29年度当初予算」、「29年度補正予算」のいずれかを記載してください。

注4)個別事業のうち、28補正(補助率8/10)で交付決定を受けている事業は、「9. 経費の内訳」の「28補正事業(補助率8/10)」の欄に○を記載してください。

注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。

注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

## 地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名: 島根県

事業番号	①
1. 個別事業名	女性活躍に係る行動計画策定支援フォローアップ事業
2. 実施期間	平成29年 4月 3日 ~ 平成30年 3月31日
3. 総事業費	1, 300, 104円
4. 事業内容	<b>【事業内容】</b> ・平成28年度に行動計画を策定した中小企業にアドバイザーを派遣し、行動計画の実現に向けて課題の分析や対策を助言した。 アドバイザー派遣件数:40件
	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 ・応援会議の構成団体である商工会議所、商工会、中小企業団体中央会の経営指導員等が同行し、継続的な支援を行った。
	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法 ・女性活躍の推進に向けて開催している市町村担当者会議等を通じ、応援企業に登録している企業の女性活躍推進の取組内容の情報の共有し、市町村からは、応援企業登録の推進などについて協力を得た。
	・交付金事業間連携、他施策との連携 ・県に登録している「しまね女性の活躍応援企業」の増加に向けた行動計画策定支援、女性の活躍のための環境整備補助金による支援事業の一環として実施しており、応援会議の構成団体や市町村を通じて、応援企業の登録促進を図った。
5. 事業効果及び効果検証の概要	・フォローアップを行うことで、行動計画の実現に向けて企業の取組みの促進や、更なる改善が見込めた。引き続き、フォローアップを行う予定。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	・目標に掲げていた40企業へフォローアップを行い、女性活躍に取り組んでいる企業に対する支援を実施できた。
7. 今後の課題	・行動計画を策定した企業全てに対して継続的なフォローアップの実施は難しく、行動計画の実現に向けて企業が継続して取組みを行えるような機運醸成や研修などのフォローが必要である。

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2) 本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

## 地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名: 島根県

事業番号	②
1. 個別事業名	しまね働く女性きらめき大賞(知事表彰)創設
2. 実施期間	平成29年12月1日 ~ 平成30年2月28日
3. 総事業費	250,325円
4. 事業内容	<p>【事業内容】</p> <p>○県内の企業等に対し被推薦者の募集開始 募集期間 平成29年12月6日～平成30年1月10日</p> <p>○外部審査委員による審査の実施 書類審査 審査会:平成30年1月19日(金) 選定委員:6名</p> <p>○表彰式開催 日時:平成30年2月7日(水) 受賞者:5名</p>
	<p>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法</p> <p>・官民一体となって当該事業を推進するため、応援会議の構成団体等を通じて募集を行った。</p>
	<p>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</p> <p>・女性活躍の推進に向けて開催している市町村担当者会議等を通じ、情報共有の上、市町村等を通じて募集を行った。また、ロールモデルの普及等について広報面での協力を得る。</p>
	<p>・交付金事業間連携、他施策との連携</p> <p>・しまね女性の活躍応援企業の知事表彰と併せて募集や表彰式を行うことで相乗効果を狙い、より効果的な情報発信を行った。</p>
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>・応募者数が目標数を大幅に超えたことから、企業のロールモデルとなる女性の表彰に対する関心が高いことがうかがえた。また、応募企業が「しまね女性の活躍応援企業」の登録申請を行うなど女性活躍の推進の効果がみられた。</p>
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>・応募者数39名、受賞者5名で目標を達成した。今後も継続して働く女性のロールモデルとなり得る女性の表彰への応募者が業種や年齢など幅広に出てくるよう努める。</p>
7. 今後の課題	<p>・女性の意識改革、企業の女性の活躍推進の取組みを促進するために、受賞者の働き方などを広く知ってもらうようPRをしていく必要がある。</p>

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2)本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

## 地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名: 島根県

事業番号	③
1. 個別事業名	ネクストリーダー(次期社長候補)向けセミナー
2. 実施期間	平成29年5月1日 ~ 平成29年7月31日
3. 総事業費	472,858円
4. 事業内容	<b>【事業内容】</b> ○応援会議のワーキングチームでの事業内容検討 日時:平成29年5月16日(火)13:30~15:30  ○ネクストリーダー向けセミナーの開催 日時:平成29年7月4日(火)15:00~17:00 参加者:82名 内容:基調講演「経営変革を掴む女性の力・チャンスは今!」15:00~16:20 情報交換会 16:20~17:00
	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 ・応援会議のワーキングチームで事業を検討し、民間のアイデア・発想を活かすとともに、構成団体の当事者意識を醸成する。併せて事業を実施、検証した。 ・官民一体となって、当該事業を推進するため応援会議の構成団体を通じて参加者の募集を行った。
	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法 ・女性活躍の推進に向けて開催している市町村担当者会議等を通じ、ネクストリーダー等の情報共有の上、市町村を通じて参加者の募集など広報面での協力を得た。
	・交付金事業間連携、他施策との連携 ・女性のスキルアップセミナー及び女性リーダー研修・ネットワー交流会(交付金事業)、イクメン・イクボス養成事業(交付金事業)、管理職向けセミナー(交付金事業以外)等の企業向けセミナーの日程調整等を行い、効果的に実施した。
5. 事業効果及び効果検証の概要	アンケート結果から基調講演について、満足した・ほぼ満足したと答えた割合が95%を超え、非常に満足度の高い講演であり、次期経営者など経営層の意識に働きかけることができた。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	セミナー参加者は82名で目標を達成した。セミナー参加企業のうち応援企業に登録申請を行った企業は現在2社であるが、引き続き応援企業登録を促していく。
7. 今後の課題	・女性の活躍推進のために引き続き経営者層に働きかけを行う必要があるが、現在取組みを進めていない企業をセミナーに参加してもらうための方法が課題である。

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2)本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名: 島根県

事業番号	④	
1. 個別事業名	女性のスキルアップセミナー及び女性リーダー研修・ネットワーク交流会	
2. 実施期間	平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日	
3. 総事業費	1,989,295円	
4. 事業内容	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>○応援会議のワーキングチームで事業内容検討          日時:平成29年5月16日(火)13:30~15:30          日時:平成29年9月27日(水)13:30~16:00</p> <p>○女性のスキルアップセミナー「働く女性のキャリア応援塾」開催(延べ参加者:106名)          第1回「自分の活かし方、自分軸を発見する」 東部:9月12日 西部:9月13日          第2回「自分のキャリアの未来像を描く」 東部:10月3日 西部:10月4日          第3回「活躍人材となるためのコミュニケーション力・マネジメント力」          東部:10月17日 西部:10月12日</p> <p>○女性リーダー研修・ネットワーク交流会(参加者:34名)          「実践!ロジカルコミュニケーション~リーダーに不可欠な論理思考力・対人思考力を鍛えよう~」 東部:12月15日 西部:12月14日</p>	
	<p>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法</p>	<p>・応援会議のワーキングチームで事業を検討し、民間のアイデア・発想を活かすとともに、構成団体の当事者意識を醸成する。併せて事業を実施、検証した。          ・官民一体で当該事業を推進するため応援会議の構成団体を通じて募集を行った。</p>
	<p>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</p>	<p>・女性活躍の推進に向けて開催している市町村担当者会議等を通じ、情報共有の上、市町村を通じて参加者の募集を行った。</p>
	<p>・交付金事業間連携、他施策との連携</p>	<p>・ネクストリーダー向けセミナー(交付金事業)、イクメン・イクボス養成事業(交付金事業)、管理職向けセミナー(交付金事業以外)等の企業向けセミナーの日程調整等を行い、効果的に実施した。</p>
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>・女性のスキルアップセミナーについては、3回シリーズということもあり、参加者同士のネットワーク形成にもつながった。また、内容についても実践につなげやすい内容で、こうした内容のセミナーを継続して行ってほしいという要望も多くあった。          ・女性のリーダー研修については、自分の考え方の偏りの気づきや自分の強みを伸ばす必要があるなど、リーダーという立場を前向きにとらえることにつなげることができた。</p>	
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>・セミナーの参加者数:目標 70人、実績 75人          実績の内訳:スキルアップセミナー 41名          女性リーダー研修・ネットワーク交流会 34名          ・受講者のうち女性管理職への登用率:目標1割(H33.3末)</p>	
7. 今後の課題	<p>・セミナーの参加者数については目標を達成することができたが、さらに様々な業種や企業から参加してもらうために、PRを強化していく必要がある。          ・女性リーダー研修では、1日講座という短い時間で、いかに参加者同士のネットワークを形成していくかが課題である。</p>	

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2)本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名: 島根県

事業番号	⑤	
1. 個別事業名	イクメン・イクボス養成事業	
2. 実施期間	平成29年5月16日 ~ 平成30年3月31日	
3. 総事業費	1,320,000円	
4. 事業内容	<p><b>【事業内容】</b>                  ○ワーキングチームでの事業検討(平成29年5月16日)                  応援会議のワーキングチーム(イクメン・イクボス推進チーム)で、事業内容について検討を実施。                  日時:平成29年5月16日(火)13:30~15:30                  日時:平成29年9月27日(水)13:30~16:00</p> <p>○「働きやすい職場推進セミナー(イクメン・イクボス推進セミナー)」                  ・日時:平成29年11月2日(木)14:00~16:00                  ・場所:テクノアークしまね(松江市北陵町1)                  ・講演テーマ:「生き残る企業になる!イクボスの経営・管理とは!?!」                  経営・管理課題を解決するためのイクボスのマネジメント                  ・講師:福井正樹氏 NPO法人ファザリング・ジャパン中国顧問                  ・参加者:30名</p> <p>○「働きやすい職場づくりのためのイクメン・イクボス出前セミナー」                  ・開催日:平成30年1月22日(月)~平成30年3月28日(水)                  ・開催回数:13回(13企業・団体)                  ・受講者数:250名                  ・セミナー内容:社内・団体内でのイクボス、ワーク・ライフ・バランス、働き方改革などの研修に講師を派遣                  ・形式:①講演、②講演+ワークショップ、③ワークショップのうち、希望に応じて実施                  ・講師:NPO法人ファザリング・ジャパン中国 福井正樹氏ほか</p>	
	<p>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法</p>	<p>・応援会議のワーキングチームで事業を検討し、民間のアイデア・発想を活かすとともに、構成団体の当事者意識を醸成した。                  ・官民一体で当該事業を推進するため応援会議の構成団体を通じて募集を行った。</p>
	<p>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</p>	<p>・女性の活躍推進に向けて県と市町村で開催している地域別の担当者会議等を通じ、情報共有の上、市町村を通じて参加者の募集を行った。</p>
	<p>・交付金事業間連携、他施策との連携</p>	<p>・女性のスキルアップセミナー及び女性リーダー研修・交流会(交付金事業)、経営者・管理職向けセミナー(交付金事業以外)と連動して、日程調整等を行い、効果的に実施した。                  ・県子ども・子育て支援課では、「こころカンパニー認定事業」、「イクボス知事表彰事業」を行っているが、セミナーを受講した企業に対し、こころカンパニーへの登録を促すなど、職場の風土・意識の他、育児に関する休暇制度など制度の充実が図られるように連携して実施した。</p>
	5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>・「働き方改革」「イクボス」「WLB」についての基本的理解がなされた。                  ・企業によっては更なる実務的な「業務効率化」「マネジメント力」に効果が期待される。                  ・経営者を対象したセミナーを実施した企業においては、「人材不足」「就労継続」等の問題解決の糸口となった。                  ・今年度の事業実施により「気づき」のあった企業が多く、来年度以降の取り組みに繋げることができた。</p>
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>・セミナー参加者数:目標200名、実績280名                  ・従業員の仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組む企業(こころカンパニー)数(アウトカム):目標300社、実績273社</p>	
7. 今後の課題	<p>・概念理解は広まったが、「イクボスマネジメント実務」「実務における働き方改革・業務効率化」がなされていないのが現状である。                  ・今後は、「基本的理解を広げる出前講座」と「実践的效果を求める出前講座」の2つの展開が課題である。</p>	

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2)本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名: 島根県

事業番号	⑥	
1. 個別事業名	優良取組企業・活躍している女性の紹介事業	
2. 実施期間	平成29年5月16日 ~ 平成30年3月31日	
3. 総事業費	1, 588, 388円	
4. 事業内容	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>○応援会議のワーキングチームでの事業内容検討          日時:平成29年5月16日(火)13:30~15:30          日時:平成29年6月23日(金)13:30~15:30          日時:平成29年9月27日(水)13:30~16:00</p> <p>○学生へのオリエンテーション          日時:平成29年8月30日(水)13:00~16:00</p> <p>○動画・リーフレット制作(9月~3月)          ・学生による企業の取材、動画撮影、編集、レポート作成など          参加者:島根大学、島根県立大学、松江高専、石見智翠館高校から計26名          取材企業:7企業 制作動画数 7本</p> <p>○動画発表会...しまね働き方改革フォーラムでの特別企画として実施          参加者:120名</p>	
	<p>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法</p>	<p>・応援会議のワーキングチームで事業を検討し、民間のアイデア・発想を活かすとともに、構成団体の当事者意識を醸成する。併せて事業を実施、検証した。</p> <p>・応援会議の構成団体である県教育委員会及び商工労働部、大学と連携して事業を実施した。</p> <p>・発表会については、応援会議の構成団体を通じて参加者を募集した。</p>
	<p>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</p>	<p>・女性活躍の推進に向けて開催している市町村担当者会議等を通じ、情報共有の上、市町村を通じて発表会の参加者の募集を行った。また、動画、パンフレットを各種会議やセミナーで活用することで、管内企業等の取組促進について協力を得る。</p>
	<p>・交付金事業間連携、他施策との連携</p>	<p>動画、パンフレットを各種会議(島根県男女共同参画社会形成促進会議、しまね女性会議等)やセミナー(女性スキルアップセミナー、女性リーダー研修、企業経営者セミナー、管理職セミナー、行動計画策定セミナー等)で広く紹介、活用する。</p>
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>・学生が県内の企業を取材・撮影することにより、学生は魅力的な企業に気づき、県内企業の魅力の発信につながったこと、企業は学生目線で企業に求めるものを知るとともに普段なかなか聞くことのできない社員の声が聞けたなど、双方にとってよい効果があった。</p> <p>・また、多くの企業が集まるフォーラムで発表を行い、参加者からも大変評価の高いものであった。</p>	
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>・発表会参加企業数:目標50社、実績52社で目標を達成した。</p> <p>・参加企業のうち応援企業:目標10社(H30. 12)</p>	
7. 今後の課題	<p>・学生、企業側からも大変好評であり、継続実施の要望が多かったが、今後の事業展開について、教育機関との連携などが課題である。</p>	

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2)本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。



地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名: 島根県

事業番号	⑦	
1. 個別事業名	働きたい女性のための座談会	
2. 実施期間	平成29年5月16日 ~ 平成30年3月6日	
3. 総事業費	125,100円	
4. 事業内容	<p>○ワーキングチームでの事業内容検討                  日時:平成29年5月16日(火)13:30~15:30                  日時:平成29年9月27日(水)13:30~16:00</p> <p>○働きたい女性のための応援セミナー&amp;企業との座談会                  日時:平成30年2月21日(水)9:30~12:00                  参加女性:5名 参加企業:4社                  内容:セミナー「チャンスはあなたの中にある! ~働くの一步を踏み出そう~」                  企業との意見交換                  個別相談会</p> <p>○働きたいママと働くママのぶっちゃけ!!座談会                  日時:平成30年3月6日(火)10:30~11:45                  参加女性:7名                  内容:育児中の女性と子育てをしながら働く女性の意見交換</p>	
	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	<p>・応援会議のワーキングチームで事業を検討し、民間のアイデア・発想を活かすとともに、構成団体の当事者意識を醸成する。併せて事業を実施、検証した。</p> <p>・働いている女性への座談会出席依頼、参加企業の募集は応援会議の構成団体を通じて行った。</p> <p>・応援会議の構成団体である労働局と情報共有し、国と連携の上、働きたい女性と県内企業とのマッチングにつなげる。</p>
	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	<p>・女性活躍の推進に向けて開催している市町村担当者会議等を通じ、情報共有の上、市町村を通じて参加者の募集を行う。</p>
	・交付金事業間連携、他施策との連携	<p>・座談会で提示された働きたい女性の意見を、企業経営者セミナー、管理職セミナーにフィードバックし、これらのセミナーの内容を充実させていく。</p> <p>・商工労働部と情報共有し、働きたい女性に県の就職支援事業を活用してもらうことにより、就業に結びつける。</p>
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>・働きたい女性と企業の座談会については、参加企業と参加者がセミナーで作成した名刺交換を行ったり、企業の経営者と話をすることで、女性が働き続けやすい企業が増えていることが分かり、働きたい気持ちが強くなったと意見があり、継続実施を希望する声もあった。</p> <p>・働きたい女性と働いている女性の座談会については、子育て中の女性の感じていることを聞くことができ、安心して働くために行政で行ってほしいことなどの要望もあった。また、子育てをしながら働くイメージをもってもらうことができた。</p>	
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>・働きたい女性の参加者:目標20名、実績:12名</p> <p>・参加者のうち就職者数:目標2割(H31. 3)</p>	
7. 今後の課題	<p>・就業希望のある女性が安心して働くために、保育や企業の制度などの情報が分かりにくいとの意見があり、情報発信の方法については今後の課題である。</p>	

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2)本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。